

令和4年度
事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	05	164260	農村施設維持事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	2,090		2,090
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	2,090		2,090

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返	<input type="radio"/>	期間限定	令和2年度 ~ 令和5年度
------	--	-------	-----------------------	------	---------------

部重点施策における目標

観光資源の充実
大迫地域への観光客の増加を図るため、施設等の整備活用を図る。

事業開始の背景・経緯

- 観光客に対するおもてなしの向上を図るため、観光施設の良好な維持管理を行う必要がある。
- 観光施設の経年劣化があり、長寿命化を図る大規模改修の必要がある。

事業概要

- 自然休養村センター消防用設備設置業務委託（繰越明許費）2,090千円

担当部署	22140000 大迫支所 大地(商工)	担当課長	
------	----------------------	------	--

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細1

- 消防用設備設置業務委託（繰越明許費）2,090千円
（1）自然休養村センター消防用設備設置業務委託 2,089,373円

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174320	観光イベント開催事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		5,600	64,295		58,695
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	21,300		21,300
	一般財源	5,600	42,995		37,395

特定財源の内訳					

事業期間		単年度繰返	○	期間限定	令和2年度 ~ 令和5年度
------	--	-------	---	------	---------------

部重点施策における目標					
-------------	--	--	--	--	--

国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯					
------------	--	--	--	--	--

地域資源の保全と魅力アップを図り、観光誘客の場として活用する。

事業概要					
------	--	--	--	--	--

○まつり、イベントの開催経費一部負担 64,295千円

①南部杜氏の里まつり ②田瀬湖湖水まつり ③イーハトーブ音楽祭 ④石鳥谷夢まつり
 ⑤あんどんまつり ⑥イーハトーブフォーラム ⑦石鳥谷まつり ⑧花巻まつり ⑨花巻まつり特産品フェア
 ⑩土沢まつり ⑪大迫ワインまつり ⑫わんこそば全日本大会 ⑬大迫・宿場の雛まつり

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

--	--	--	--

事業手法の詳細1

まつり、イベントの開催経費の一部負担 (単位: 千円)

【目的】市がまつり・イベントの実行組織等に財政的な支援を行うことで、まつり・イベントが円滑に運営され、もって交流人口の拡大とそれに伴う賑わい創出や消費拡大等地域活性化を期すもの。

イベント名	事業費	負担金額	開催日	R4入込数
①南部杜氏の里まつり	872	400	10/29 (土)・30 (日)	60
②田瀬湖湖水まつり	6,790	4,400	7/30 (土)・31 (日)	6,659
③イーハトーブ音楽祭	1,420	500	8/6 (土)・7 (日) 12/18 (日)	3,200
④石鳥谷夢まつり	5,890	5,000	8/6 (土)	無観客開催
⑤あんどんまつり	3,023	1,900	8/14 (日)・16 (火)	4,000
⑥イーハトーブフォーラム	24,620	16,000	8/20 (土)・21 (日)	6,659
⑦石鳥谷まつり	5,700	4,800	9/8 (木) ~ 10 (土)	15,000
⑧花巻まつり	33,392	22,795	9/10 (土) ~ 11 (日)	55,000
⑨花巻まつり特産品フェア	3,688	1,000	9/10 (土) ~ 11 (日)	11,775
⑩土沢まつり	2,136	1,600	9/17 (土)・18 (日)	2,500
⑪大迫ワインまつり	4,953	3,400	9/18 (日)	3,000
⑫わんこそば全日本大会	3,688	1,800	R5. 2/11 (土)	1,950
⑬大迫・宿場の雛まつり	3,638	700	R5. 2/23 (木) ~ 3/5 (日)	3,443
計:	64,295			113,246

※①南部杜氏の里まつり実行委員会負担金
 予算額600千円であったが、まつりの開催規模縮小により負担金額を400千円とした。

※⑧花巻まつり実行委員会負担金
 負担金額18,600千円+花巻開町430年事業4,195千円=22,795千円であったが、開催日程短縮により、支出済みの負担金の一部3,635千円を雑入へ返還。

※⑩土沢まつり実行委員会負担金
 予算額2,400千円であったが、まつり参加団体の減少により負担金額を1,600千円とした。

(負担金合計額) 64,295千円 - (返還金) 3,635千円 = (実質支払額) 60,660千円

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174330	広域観光推進事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,042	1,000		-42
財源 内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	1,042	1,000		-42

特定財源の内訳					

事業期間		単年度繰返	○	期間限定	令和2年度 ~ 令和5年度
------	--	-------	---	------	---------------

部重点施策における目標
国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯
花巻温泉郷を中心とした宿泊受入基盤と広域的な観光資源の組み合わせによる観光誘客の相乗効果を発揮させる。

事業概要
○釜石線沿線広域エリア活性化委員会事業支援 400千円 釜石線沿線地域の自治体等とJ R東日本が連携して、S L銀河の運行を軸とした観光P Rを行う釜石線沿線広域エリア活性化委員会への負担金
○花巻・遠野・平泉観光推進協議会事業支援 600千円 花巻・遠野・平泉観光推進協議会が実施する広域的な誘客への取組を支援

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
<ol style="list-style-type: none"> 釜石線沿線広域エリア活性化委員会負担金 400千円 釜石線沿線広域エリア（花巻・遠野・釜石・住田・大槌）、J R等が共同で実施する誘客事業への負担金 <ul style="list-style-type: none"> S L銀河の運行に合わせた誘客事業 J R東日本が作製するパンフレットへの広告掲載 イベント出展等でのPR活動 花巻・遠野・平泉観光推進協議会事業補助金 600千円 広域観光誘客事業で3市町の魅力をP Rする花巻・遠野・平泉観光推進協議会への事業補助 <ul style="list-style-type: none"> アフターD C期間中における誘客の動機づけ、観光プロモーション、S N Sでの情報拡散を目的としたS N Sキャンペーンの実施 教育旅行の誘致促進のため国内旅行会社を対象に商談・セールス展開 「Japan Expo Thai Land」に出展し、プロモーション活動の実施

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174380	観光施設維持事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	16,335		16,335
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	14,700		14,700
	一般財源	0	1,635		1,635

特定財源の内訳					
事業期間	<input type="radio"/>	単年度繰返	期間限定	～	

事業期間	<input type="radio"/>	単年度繰返	期間限定	～	
------	-----------------------	-------	------	---	--

部重点施策における目標

観光資源の充実と発信力を高め、交流人口の拡大と観光客満足度の向上を図ります。

事業開始の背景・経緯

○観光客に対するおもてなしの向上を図るため、観光施設の良好な維持管理を行う必要がある。
 ○観光施設の経年劣化があり、長寿命化を図る大規模改修の必要がある。
 ○老朽化により未使用となった施設等については、安全確保のため、解体撤去の必要がある。

事業概要

○イギリス海岸護岸階段修繕 9,295千円
 ○花巻市交流会館屋上空調設備改修工事基本設計業委託 990千円
 ○花巻市交流会館屋上防水業務委託 6,050千円

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

観光施設維持事業費 16,335千円

1. イギリス海岸護岸階段修繕 9,295千円
 イギリス海岸護岸階段の敷石が剥がれている箇所が多数あり、観光客等の危険防止のため現在立入禁止にしている状態であり、護岸階段の改修が必要である。
 国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所と締結している当該施設の管理に関する覚書に基づき、経年劣化に伴う補修については、占用許可を受けている当市が行うこととなっているため、実施するもの。

2. 花巻市交流会館屋上空調設備改修工事基本設計業委託 990千円（補正）
 花巻市交流会館の雨漏りに伴い、要因の一つである屋上部に設置の空調機の移設・更新について基本設計をしたもの。

3. 花巻市交流会館屋上防水業務委託 6,050千円（補正）
 2. において設計を実施した結果、費用が大きく嵩むことから基本設計での示された複数の工法を断念し、屋上部の防水塗装を実施。

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174380	観光施設維持事業費

事業手法の詳細 2
<p>観光施設維持事業費</p> <p>花巻市交流会館</p> <p>【現状】施設の経年劣化による老朽化 ⇒ ●観光客のイメージの悪化 ●雨漏りの発生 ⇒ ●施設利用者の満足度低下 ●設備等の老朽化による破損 ⇒ ●安全、安心への懸念</p> <p>【対応策】</p> <p>①小規模修繕での対応</p> <p>②修繕対応不可 利用状況低下 ⇒ 後年度への懸念 ⇒ 解体撤去</p> <p>③劣化調査及び改修（修繕）計画策定</p> <p>④大規模改修の実施</p>

事業手法の詳細 3

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174410	道の駅「石鳥谷」施設再編事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		115,602	189,481		73,879
財源内訳	国費	15,577	0		-15,577
	県費	0	0		0
	地方債	88,000	147,100		59,100
	その他	152	6,300		6,148
	一般財源	11,873	36,081		24,208

特定財源の内訳					

事業期間		単年度繰返	○	期間限定	平成30年度 ~ 令和5年度
------	--	-------	---	------	----------------

部重点施策における目標					
-------------	--	--	--	--	--

1 地域の特色を生かした賑わいと活力あふれるまちづくりを推進します。(しごと)					
---	--	--	--	--	--

事業開始の背景・経緯					
------------	--	--	--	--	--

道の駅「石鳥谷」は、平成5年に県内第1号の道の駅に指定されて以来、約四半世紀が経過したことから、施設の魅力向上、利便性の向上を図るため、再編整備を行う。					
--	--	--	--	--	--

事業概要					
------	--	--	--	--	--

○地域振興施設の工事 71,554千円(うち繰越明許費38,675千円) りんどう亭大食堂屋根改修、南部杜氏伝承館展示改修(R3繰越明許)					
○外構部の工事等 103,867千円 南側駐車場舗装及び広場舗装等、外灯及び身障者駐車場新築、E V用急速充電器設置、喫煙所設置等					
○移設・撤去等 13,926千円 農産物直売所解体及び下屋増設、物置移設、旧せせらぎ散策路自然石等撤去					
○国や関係機関・団体との協議、共通経費 134千円					

担当部署	23140000 石鳥谷支所 石地(商工)	担当課長	佐藤 充
------	-----------------------	------	------

意見・要望等の状況			
市政懇談会などで、道の駅「石鳥谷」の施設再編を望む意見がある。			

事業手法の詳細1			
----------	--	--	--

○現年度支出経費(R3→R4繰越明許費含む)	189,481千円(うち繰越明許費38,675千円)
------------------------	----------------------------

1. 地域振興施設の工事等	71,554千円(うち繰越明許費38,675千円)
(1) りんどう亭大食堂屋根改修工事	32,879千円
(2) 南部杜氏伝承館展示改修業務委託	38,675千円(うち繰越明許費38,675千円)

2. 外構部の工事等	103,867千円
(1) 南側駐車場舗装及び広場舗装等工事	50,000千円
(2) 外灯及び身障者駐車場新設工事	26,092千円
(3) E V用急速充電器設置業務委託	13,093千円
(4) 喫煙所設置業務委託	2,663千円
(5) 北側敷地境界フェンス設置業務委託	2,119千円
(6) 北側臨時駐車場整備業務委託	3,234千円
(7) 芝生地種子吹付業務委託	682千円
(8) 身障者駐車場資料作成業務委託	260千円
(9) やぐら照明設備撤去業務委託	90千円
(10) 施設案内看板設置業務委託	2,442千円
(11) りんどう亭室内等改修業務委託	1,518千円
(12) りんどう亭自動給水栓化改修業務委託	1,115千円
(13) 南部杜氏伝承館東側敷砂利業務委託	409千円
(14) 酒匠館エアコン屋外器移設業務委託	42千円
(15) 酒匠館女子トイレ電気暖房機改修業務委託	107千円

3. 移設・撤去等	13,926千円
(1) 農産物直売所解体及び下屋増設工事	11,385千円
(2) 物置移設業務委託(杜の蔵)	858千円
(3) 物置移設業務委託(酒匠館)	112千円
(4) 南部杜氏伝承館展示物撤去業務委託	493千円
(5) 旧せせらぎ散策路自然石等撤去業務委託	1,078千円

4. 国や関係機関・団体との協議、共通経費	134千円
-----------------------	-------

○翌年度繰越明許費(R4→R5)	79,928千円
------------------	----------

(1) 南側駐車場舗装及び広場舗装等工事	76,991千円
(2) 仮設通路復旧業務委託	1,199千円
(3) 立ち喰いそば酒蔵撤去業務委託	1,738千円

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174440	観光・物産事業者等緊急対策事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		802,584	234,495		-568,089
財源内訳	国費	652,486	144,321		-508,165
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	38,500		38,500
	一般財源	150,098	51,674		-98,424

特定財源の内訳					

事業期間		単年度繰返	○	期間限定	令和2年度 ~ 令和3年度
------	--	-------	---	------	---------------

部重点施策における目標
国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯
新型コロナウイルス感染症拡大による観光客の激減に伴い、事業活動や経営、雇用の継続に影響を受けている事業者を支援し、もって観光・物産関連事業者の事業継続や雇用維持の一助となることを目的とする。

事業概要
○温泉宿泊施設等利用促進事業 226,425千円（繰越執行47,289千円+現年執行179,136千円） 市内温泉宿泊施設等の利用者（県民）を対象に利用料を助成
○貸切バス事業者運行支援緊急対策交付金 3,040千円 燃料費高騰の影響を受けている貸切バス事業者を対象に、事業継続を支援
○宿泊施設等燃料高騰緊急対策支援金 5,030千円 燃料費高騰の影響を受けている市内の温泉宿泊施設等を対象に、事業継続を支援

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
観光・物産事業者等緊急対策事業費 234,495千円（繰越執行47,289千円+現年執行187,206千円）
1. 温泉宿泊施設等利用促進事業 226,425千円（繰越執行47,289千円+現年執行179,136千円） 市内温泉宿泊施設等を利用する県民等を対象に、利用料の助成を行うことにより、温泉宿泊施設等の利用促進と市内への誘客促進を図るもの。 ・宿泊助成 202,354千円（繰越執行45,758千円+現年執行156,596千円） ・日帰り助成 24,071千円（繰越執行 1,531千円+現年執行 22,540千円）
2. 貸切バス事業者運行支援緊急対策交付金 3,040千円 燃料費高騰の影響を緩和するため、上期分として、市内に配車している貸切バス1台当たり40千円を支援（下期分は令和5年度に繰越） ・令和4年度上期分 10事業者76台を支援
3. 宿泊施設等燃料高騰緊急対策支援金 5,030千円 市内の温泉宿泊施設等を対象に、燃料費高騰の影響を緩和するため、燃料費3か月分の上昇額を法人は200千円、個人事業者は50千円を上限に支援 ・法人25施設、個人3施設を支援